

## 持続可能なモビリティ: グリーン ワイヤレスに対するシスコの方針

### イントロダクション

モビリティ テクノロジーの進化のおかげで、人々は何をするにも速く、手際良く、安く成し遂げることができるようになりました。また見過ごされがちですが、モビリティには CO2 排出量の削減というメリットもあります。シスコがテクノロジー開発の中でも特に力を入れているのは、コラボレーション エクスペリエンスを仮想化して生産性を高めるテクノロジーです。さらに、設計と製品開発にも、新しいワイヤレス製品が環境に配慮したものとなるようにするプロセスを取り入れています。シスコのエンジニアは、ワイヤレス製品のライフサイクル全体、つまり物理的な専有面積と梱包、ドキュメント、電力消費から製品の最終的な廃棄処分に至るまでを念頭に置いて設計を行っています。

この文書では、ビジネスのリソース有効活用とコラボレーション促進の手段としてのモビリティをお客様に活用していただくために、シスコがどのような取り組みを行っているかを紹介します。持続可能なテクノロジーを開発するというコミットメントの下に、シスコは、より環境に配慮した、より効率的なワイヤレス製品作りを目指しています。

### モビリティとグリーン

シスコのモビリティ ソリューションは、ビジネスのリソース使用最適化を支援します。小規模企業におけるモビリティの効果は、設備の削減だけでなく、スマート ワークスペースとホテリングの導入や、より柔軟なオフィス環境としても現れています。シスコのモビリティ ソリューションを導入した企業は、次のような効果を通して CO2 排出量を削減しています。

- 作業環境を構築または移動するときの費用対効果が高い(配線のような恒久的なインフラストラクチャへの投資が不要になる)
- 出張や通勤の必要性が減る(従業員は時と場所を問わずに仕事ができる)
- オフィス スペースの必要性を減らす柔軟なワークスペース作りが可能になる
- 固定通信インフラストラクチャと比較すると、エネルギー消費が減少する
- 会社の管理下にあるワイヤレスを従業員の自宅まで拡張する柔軟なテレコミュニケーション ソリューションが可能になるため、従業員はオフィスに通わなくても生産性を維持できる

### 持続可能な製品開発

シスコは、個々のワイヤレス製品が企業のリソース消費削減に貢献するように製品を開発する手法を積極的に取り入れています。より持続可能なワイヤレス テクノロジーを開発するためにシスコが行っていることのうち、いくつかを次にご紹介します。

### 法規制の遵守

- シスコのワイヤレス アクセス ポイントの電源装置および電源コードは EnergyStar 認定を受けており、CEC (California Energy Conservation) の要件を満たしています。
- シスコは、電子機器の電力消費削減を目的としたヨーロッパの電源装置関連指令に準拠しています。

- シスコは RoHS(有害物質の使用規制)指令 6 に準拠しており、シスコ製品には鉛、水銀、六価クロム、カドミウムなどの有害金属は含まれていません。

### 設計効率

- シスコのアクセス ポイントには、電力消費を削減するために、使用されない時間帯は出力を下げる機能があります。Cisco Wireless Control System (WCS)を使用してポリシーを設定しておくと、使用されない時間帯にアクセス ポイントの無線をオフにすることができます。この機能を利用すると、1 時間にアクセス ポイントあたり最大 7 W を節約できます。企業が保有するアクセス ポイントの数が 1,000 台ならば、この節約を合計すると年間 2,500 米ドルにもなります。1 シスコが販売するアクセス ポイントの総数で計算すると、1 年間に 375 万米ドル分のエネルギーを節約していることとなります。
- Cisco Discovery Protocol(CDP)を使用すると、アクセス ポイントと Cisco Catalyst® スイッチとの間で電力レベルをインテリジェントにネゴシエートすることができます。このようにして、アクセス ポイントは動作に必要なだけの電力を要求します。
- アクセス ポイントの機種の中には、パフォーマンスを最適化するか電力消費を最適化するかを選択できるものもあります。たとえば、Cisco Aironet® 1250 シリーズ アクセス ポイントを低パフォーマンス モードに設定すれば、電力消費を抑えることができます。

### 電力モード

- シスコのアクセス ポイントへの給電方法は、標準および拡張の Power over Ethernet、パワーインジェクタ、AC 電源などから選択できます。
- アクセス ポイントを省電力モードに切り替えることができます。その方法の一つはハイバネーションで、もう一つは、クライアントの利用状況、モデル、時間帯に基づいてセル サイズを縮小させるというものです。
- Cisco Compatible Extensions プログラムを通して、シスコはクライアントとアクセス ポイントの間のインテリジェンスを利用したモバイル デバイス電力消費抑制を図っています。バッテリーから給電できる時間が長くなるため、頻繁な充電は不要になります。

### 廃棄物の削減

- シスコは、アクセス ポイントを 10 台まとめた環境に優しい「エコパック」を採用しています。このエコパックによって、梱包資材が 50% 削減されます。さらに、このエコパックには電源コードは含まれないので、お客様が不要なコンポーネントを廃棄または保管する必要はなくなります。
- シスコの製品ドキュメントは、印刷物ではなくデジタル形式で CD に収録されています。これだけで、2,200 本を超える樹木が伐採を免れたことになり、電力に換算すると、1 年間の家庭の暖房費 65 軒以上に相当します。
- シスコは、回収とリサイクルのプログラムを通して、寿命に達して使われなくなった製品の適切な処分を支援しています。このプログラムは、廃棄物処理場や埋め立て地への負担を軽減します。

<sup>1</sup> 1 時間に KW あたり 0.08 米ドル節約、1 日のダウンタイム平均 12 時間として計算

## まとめ

企業の CO2 排出量削減にはモビリティとワイヤレスが重要な役割を果たします。モビリティソリューションに投資すれば、従業員の生産性向上が期待できるだけでなく、柔軟な作業環境の利点を活用して、電力消費の削減と全体の設備削減も可能です。シスコでは、テクノロジー開発においては環境保全を念頭に置いており、廃棄物を減らす一方で運用効率を高めるようにワイヤレス製品を設計しています。その結果、原材料の量が減ると共に、企業の電力、保管、廃棄のコストが節約されます。

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先